

ひつうきをつくったよ

しら子ちようりつせき小学校

—ねん いいいいがい

ふとんのうえにゆっくりよこになる。手もあしもぐんとのばす。それがらいいきにちがびきぬく。ふにやあつてからだかひろがつて、とてもいいきもち。あをつむつて、すうつといきをすいこむ。ああ、まようもきさちいいなあ。そうおきつているうちに、ぼくはいつのまにかねむっちゃらんた。

せんせいがい、こんなしつもんをした。

「ねることはすきですか。」

ぼくは、なかなかねおれな、いといやだから

ねることはきらいです。てこたえた。おうち

にかえつてからあかあさんにそのことをはな

したらわりわれちがった。

「あなはいつだつて、あつというまいね

あつちがうあま。」

だつて。おかあさんのいうとおりがとしれな

い。だつて、いつさぼくが一人さいしよに

ねむっ ちやうもの。ぼくは、おとうさんのい
 ひきはきいたことないけれど、グーグーって
 いうらしい。でも、ぼくもときどきいひきを
 かいているんだって。しらながったなあ。ぼ
 くはねぞうもあるらしい。ねちやうとぼく
 のしらないうちにかえがでてたり、うづいて
 いたりするなんてふしぎだなあ。ぼく、ねる
 ことってきらいじゃないのかしらねない。
 このまえ、とってきおもしろいゆめを見た
 んだ。ひこうきをつくるゆめ。ぼくはおじい
 さんで、一どでいいから空をとびたいとおも
 っているんだ。たかいたころかぐとびおいた
 り、いっしょうけんめいにはしゃたりするけ
 れどながながとべない。大きなぬのを手にも
 ってパラシエートみたいにしてきだめ。でも
 空に一つのとりがとんでいるのを見て、ひら
 めくんだ。
 ♪ そうだ。はねだ。
 そうさけんだ。ぼくは、大きな大きなねをつ
 くって空をとびた。空をぐんぐんとんで、

なんきよくまでいったんだよ。ぼくはとって
 もいいや、もちでめがさめた。おかあさんはほ
 くがねむりながらわらってた。ていつてた。
 ああ、たのしいゆめだったなあ。
 「ねがそくだあ。」
 おとうきんがとづせんいった。ねがそく
 とどんなきぶんだろう。「ぼうつとしてすっ
 きりしないきぶん。」おとうさんはそういつて
 た。いやなきがんなのかな。ぼくもいつもよ
 りおそくまでおきているとねぼうすることか
 ある。ねるじかんやおきるじかん、ねむって
 いるときのことを、いままであんまりかんが
 えたことなかつたな。もしねなかつたらどう
 かなうちやうんだらう。ひょうきになつちやう
 のかな。ぼくはたおれたことはないけれど、
 たかいねつがでたときがある。かりだかうご
 かなかくてだるくてすごくいやなきぶんだった。
 もしねなかつたらそうなうちやうのかな。だ
 からねむるつてすごくすごくくだいじなこたな
 んだね。ぼく、きょうは、はやくねよつと。